

植栽ジャーナル

なら



四季彩の庭

し き いろどり

# 四季彩の庭

第4号

地域の魅力と彩りを活かしたまちづくり  
宇陀市

みんなでつくる「私たちの庭」

やまと郡山環境を良くする市民の会

私たちは庭づくり応援団

市民生活協同組合ならコープ

 奈良県

# 地域の魅力と彩りを 活かしたまちづくり



奈良県の魅力を向上させる「奈良県植栽計画」は、各市町村においても、行政とそれぞれの地域の方々の協力を得て、着々と進んでいます。今回はその中から宇陀市の取り組みについて紹介します。

重要伝統的建造物群保存地区「宇陀松山」の華小路

日本最初の薬狩りの地で  
彩りあるウエルネス  
シテイをめざす

## 宇陀市



市の花 スズラン

奈良県の北東部に位置する宇陀市は、平成18年1月、大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村の4か町村の合併で誕生しました。神武伝承ゆかりの地が多くある歴史の深いまちであり、高原地帯の気候を生かした農作物の栽培が盛んです。佛隆寺彼岸花再生プロジェクトによる彩りの名所復興や、薬草による特産品づくりなど、さまざまな手法でまちづくりに取り組んでいる宇陀市。その取り組みについて、農林商工部の山本喜次さんに伺いました。

### 古事記・日本書紀にも ゆかりのある歴史深いまち



宇陀市 農林商工部  
やまもと よしつぐ  
部長 山本 喜次 さん

宇陀市は大和の伝統野菜に認定されている宇陀金ゴボウや黒豆、大和茶といった農作物のほか、毛皮革製品の生産でも知られ、特に鹿革の生産量は全国シェアの95%を占めています。そんな宇陀市の歴史は古く、古事記・日本書紀に

### 大和トウキで「薬草のまち」を目指す

記されている神武天皇大和平安の伝承地が今も多く息づいています。また、薬にゆかりが深いまちであり、日本書紀には、推古19(611)年5月5日、推古天皇がこの地で日本初めての薬狩りを行ったと記されています。江戸時代中期には、宇陀松山に森野旧薬園が開園し、現在も約250種の薬草木を観賞することができます。

ウエルネスシテイ「健康都市宇陀」を目指す取り組みとして、まず平成26年、県や農家とともに薬草協議会を結成し、協議会で育てた大和トウキの苗を平成28年4月に農家に配布しました。農家で栽培された大和トウキの根を12月に買い取った結果、生産量は3トンに達しました。根の部分は乾燥させて製薬会社に卸したほか、葉の部分はトウキ茶、トウキドレッシング等に加工して販売、飴やカレーも試作中です。



今後は大和トウキを宇陀市の特産品として、薬草を活用したまちづくりを目指しています。

## 佛隆寺と室生寺の彩り再生に向けて

彩りあるまちづくりを目指し、佛隆寺と室生寺の花の再生に取り組んでいます。佛隆寺は、秋の彼岸の頃、彼岸花が多く咲くことで知られていましたが、3年程前から、シカやイノシシに球根を掘り返され、無惨な状態となりました。球根を守るためにフェンスを設置したことなどがニュースでも取り上げられ、多方面から球根の寄付をいただきボランティアの方々が植え付けをしましたが、以前の見事な風景にはまだまだ及びません。これからも、球根の寄付やボランティアを募って植え付けを継続し、少しずつ花が増えて行くのを皆さんと一緒に見ていきたいと考えています。



女人高野として知られる室生寺は、シヤクナゲが美しい花の寺としても知られています。その花のつぼみが、佛隆寺と同じく3年程前、シカやイノシシに食べられる獣害に遭いました。そこで平成27年度、景観に配慮した防護柵を設置し、シカやイノシシが入れないようにしました。シヤクナゲの株が古くなり、世代交替の時期でもあるので、今後、新しい苗木を植え、シヤクナゲの復活を図っていく予定です。

## 植栽を活かした魅力的な取り組み

宇陀市では、こうした再生の取組とは別に、植栽を活かしたイベントや施設もあります。その1つが、「宇陀松山華小路」です。重要伝統

的建造物群保存地区である松山地区の路地に、宇陀市特産品であるダリアの花で美しいアート作品を描くというもので、毎年10月に行われています。

また、旧宇太小学校の木造校舎と校庭を利用した「奈良カエデの郷ひらら」には、世界のカエデ1200種3000本が植えられ、特に美しいのは新緑と紅葉の季節です。旧校舎にはカフェやギャラリーなどがあり、昔なつかしい給食ランチやライブも楽しめ、年間2000人以上が訪れています。

今後も彩りある健幸都市づくりを進め地域の活性化を図り、多くの人々に訪れてもらえる宇陀市を目指していきますので、ぜひお越しただけたらと思います。

- ① 森野旧薬園は「小石川植物園」と並ぶ日本最古の薬草園で、薬園からは大宇陀の街を見渡すことができます。(奈良県景観資産)
- ② 市内で栽培される大和トウキ
- ③ 以前の佛隆寺での彼岸花。
- ④ ボランティアの方々により彼岸花の球根が植えられました。
- ⑤ 佛隆寺の千年桜。
- ⑥ 旧宇太小学校の木造校舎と世界のカエデが美しい「奈良カエデの郷ひらら」

# みんなで作る「私たちの庭」

「やまと郡山環境を良くする市民の会」は、植栽を通じた景観の魅力向上や維持に取り組んでいます。会長の磯三男さんと、七曲道担当の鴻巣利英さんにお話を伺いました。

整備され、歩きやすくなった古道七曲道

古道「七曲道」を、歩きたくなる道へ

## やまと郡山環境を良くする市民の会



ぬかるみに砂利を入れて整備、地元自治会も参加

### 得意分野を生かして環境ボランティアを

機械プラントの設計をしていた磯さんは、定年退職後の16年前、大和郡山市の環境基本計画作りに市民の立場で参加。その縁か

ら平成14年4月、市からボランティア団体を立ち上げて欲しいとお願ひされ、仲間とともに「やまと郡山環境を良くする市民の会」を立ち上げました。

会員は一時100名を超えましたが、高齢化して現在は30名ほどです。環境を、地球・自然・生活・歴史文化の4分野で捉え、それぞれやりたいことを選んで活動しています。皆さんが様々な分野のプロで、チェンソーなども自分たちで扱っています。



七曲道担当  
鴻巣 利英 さん



会長  
磯 三男 さん

## 清掃から花壇作りまで 幅広く楽しく活動

当初、市内全域を調査し、自治会などの手が回らない場所の清掃活動から始めました。今も市と協働して大和中央道、佐保川上流などで、年間延べ14kmほどの距離を清掃しています。また、街路樹が強剪定されているところがあることから、道路に影を作るような樹形への改善を行政にお願いしたり、落葉の清掃活動をしたり、市内の巨木調査もしました。他にも、富雄川沿いにあるサイクリングロード沿いの一部には、花壇を作っています。1人では出来ないことも仲間と一緒に可能です。新たな活



奈良学園生徒有志の参加



案内板の除幕式 地元の子供たちが参加

動として、5年前から古道七曲道の整備が加わりました。

## 歴史ある古道「七曲道」を復活させたい

鴻巣さんは定年後、畑を始めてから、近くに七曲道と言われている古道があることを聞ききました。これは昔、平群と大和郡山の山田町を行き来するのに使われていた幅1.8mの里道です。大阪にも通じていた歴史ある峠道が廢道になっているのを何とかしたいと、仲間を集め、倒木をチェーンソーで切ったり、枝を落として通れるようにしました。集まりは自然解散しましたが、道は継続的に手入れが必要です。入会していた「やまと郡山環境を良くする市民の会」の磯

さんに相談したところ、会で整備することにになりました。市のアイディアサポート事業の助成金を得て、自治会や近くにある奈良学園の生徒会にも協力してもらい、ぬかるみに砂利を敷くなどの大掛かりな整備を行うことができました。

## 「歩きたくなる道」を 次世代につなぐ

七曲道の近くには厄よけ霊場として有名な松尾寺があり、その参詣道にもつながっています。会で手を入れているのは320m程度ですが、松尾寺から南の法隆寺や西の近鉄平



設置した案内板

群駅までのハイキングコースとして利用される方も増えてきており、今も毎月1回のペースで維持活動をしています。

また、この道を「歩ける道」から「歩きたくなる道」にしようと、秋に紅葉が楽しめるイロハカエデを植栽したり、アジサイやシヤガの苗も植え始めました。いずれシヤガの白い花が谷を埋めるようになれば、と思っています。

この辺りは古くからの歴史もあり、地域の歴史の講演会やハイキングを開催して土地の遺跡を解説するなど、これからも楽しく活動を続けながら、誇りを持てる地域として次世代につながっていきたいと思っています。

魅力ある庭づくりが進んでいます

## 飛鳥エリア



整備後

うっそうとした竹やぶが…  
季節の木々を楽しめる休憩所になりました。



整備前



3



2



1

大和は国のまほろば…訪れた人を万葉の世界へと誘う奈良・飛鳥エリア。  
美しい田園風景と里山に囲まれた飛鳥の地に点在する、不思議な石や、由緒ある古社寺、  
「万葉日本画」コレクションを有する万葉文化館。こうしたスポットを自転車で巡ってみませんか？  
万葉文化館そばには桜、モミジなどを楽しみながら休憩できる駐輪場が整備されています。



6



5



4

### 奈良県立万葉文化館

万葉集を中心とした古代文化に関する総合文化拠点として開館し、2016年に15周年を迎えました。  
万葉の植物が集められた万葉庭園では、春夏秋冬様々な花や草木を楽しむことができ、日本最初の鑄造貨幣とされる富本銭が出土した飛鳥池工房跡の復原展示も見学できます。

- ① 自転車をとめて散策へ
- ② 竹の緑と青空がすがすがしい
- ③ 案内板で、現在地を確認
- ④⑤ 四季折々の花が咲き誇る万葉庭園
- ④ 藪椿
- ⑤ 雪柳、連翹(レンギョウ)、花桃
- ⑥ 万葉文化館メインエントランス
- ⑦ 万葉庭園のお花で押し花をつくるイベント(要問合せ)



7

# 私たちは庭づくり応援団

## 「菜の花エコプロジェクト」で循環型社会へ

(市民生活協同組合ならコープ)



市民生活協同組合ならコープ  
ありやまのじみ  
常任理事 有山 富士美 さん

### 環境問題を身近に感じて

ならコープでは環境活動に力を入れており、その1つに「菜の花エコプロジェクト」があります。きっかけは平成16年、「環境県民フォーラム」での学習会です。講師の藤井絢子さんは全国で「菜の花プロジェクト」を進めている方で、ならコープでもこれを取り入れようと、平成18年から「菜の花エコプロジェクト」を始めました。菜の花を育てる作業を通して

農業を身近に感じ、休耕田の活用で里山を保全する。栽培した菜の花は菜種油として使われた後、その廃食油などを回収してバイオディーゼル燃料などに再利用する循環型社会を進めるプロジェクトです。

### 自然の中で楽しい体験を

このプロジェクトでは、まず9月に、1年間活動するご家族を20家族募ります。活動1回目の10月、オリエンテーションの後、生駒市西畑町の棚田へ。ご協力いただいている自然環境保全団体「いこま棚田クラブ」の皆さんに教えてもらい、菜の花の種を蒔きます。冬期を除く月1回の活動には、草引きなどの作業だけでなく、シイタケの菌打ちなど、楽しい体験も組み合わせます。参加するご家族

の中には小さなお子さんもいて、遊びながら里山の自然に触れる貴重な体験になっています。

4月には一般参加者も募って「菜の花まつり」を開催します。棚田までのウォーキングのほか、美しい菜の花畑を眺めての散策、地元産の野菜やパンなどの出店もあって賑わいます。6月には菜種を収穫し、これを絞って油にします。

### 環境活動の輪を広げて

ならコープでは、環境活動の輪を広げようと、菜の花の種プレゼントをすすめています。菜の花と



菜の花畑の手入れ



毎年、春に菜の花まつりを開催(生駒市西畑町)

家族の写真コンテストも計画中です。他にも、「奈良の元気は吉野から」を合言葉に吉野共生プロジェクトを立ち上げ、小水力発電や募金活動に取り組んだり、川上村の「未来への風景づくり」プロジェクトに参画し、植樹活動を行ったりしています。コープの各店舗での使用済み天ぷら油回収活動は、平成27年度延べ1985人の参加があり、約4318ℓ回収されました。これからも、多くの皆さんとともに「ならコープがあつてよかったね!」と喜ばれる活動を続けていけたらと考えています。

## 馬見丘陵公園エリア

県営馬見丘陵公園  
(広陵町・河合町)

見頃 7月下旬～8月上旬

四季折々に美しい花が楽しめる県営馬見丘陵公園。北エリアの「集いの丘」「馬見花苑」、中央エリアの「花の道」「カリヨンの丘」など広い園内の各所で、計10万株以上ものひまわりが鮮やかに咲き誇ります。



## 彩りの庭だより 春・夏の彩り

奈良県内の彩りの名所を紹介します。

ひまわり



桜



## 高田川沿エリア

高田千本桜  
(大和高田市)

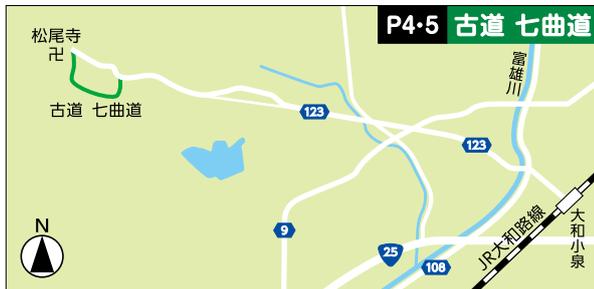
見頃 3月下旬～4月上旬

奈良県内でも有数の桜の名所として知られ、春には約1000本の桜の木が花を咲かせます。夜にはほんぼりが灯り、うすピンクの花が幻想的な風景を見せ、出店もたくさん出て賑わいます。



写真提供：奈良県ビジターズビューロー

## アクセスマップ



植栽ジャーナル「なら四季彩の庭」 2017年3月発行

発行：奈良県暮らし創造部 景観・環境局 景観・自然環境課

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

TEL 0742-27-8752 FAX 0742-22-8276

HP「奈良県植栽計画について」<http://www.pref.nara.jp/35018.htm>

奈良県植栽計画

検索